

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東海北陸地区（主担当大学：福井大学、名古屋大学）
事業名	平成 26 年度東海北陸地区国立大学図書館協会研修会 ワークショップ「学びの力を獲得する『共読』を体験する」
事業目的・趣旨	「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）」等でラーニングコモンズを活用してのアクティブ・ラーニングへの展開が図書館に求められている。 このことから、アクティブ・ラーニングにつながる手立てとして、読書と学習支援のあたらしいカタチとして知られる「共読」に関するワークショップを開催し、図書館員の立場からの学修支援の発展について考察する。
実施内容	開催日時：第 1 回ワークショップ 8 月 22 日（金）13:00～17:00 第 2 回ワークショップ 9 月 26 日（金）13:00～17:00 会 場：福井大学総合図書館 3 F 研修室 主 催：東海北陸地区国立大学図書館協会 内 容：第 1 回ワークショップ 「三冊で読む」 講師 小川玲子氏 （ イシス編集学校 師範代 ） 目次読書法をベースに、出会った本三冊で共読を体験する 第 2 回ワークショップ 「棚を読む」 講師 小川玲子氏 （ イシス編集学校 師範代 ） 相互に語りあうことによる棚づくりで共読の可能性を探る
事業の成果 （アンケート調査 結果、事業への意 見・感想等）	第 1 回ワークショップ 参加者数 6 大学 12 名 ＜アンケート調査結果＞ （評価） 大変よい 9 名 よい 3 名 （感想等） 「新しい読書の方法をワークショップという形で体験できた」、「他の方々が本を見る時の視点が新鮮だった」、「限られた時間の中で少しでも多くの本を読みたいのが現代人の共通の悩みとすれば、目次

	読書法はたとえば、文献を多く読みたい学生さんには特に有用だと思います」等 第2回ワークショップ 参加者数 9大学 15名 ＜アンケート調査結果＞ （評価） 大変よかった 5名 よかった 10名 （感想等） 「自分の大学でも是非実施したいと思いました」、「新しい読書のかたちを知れて良かったです」、「バラバラな目線で選んだ本でも関連を持たせることのできる不思議さがよかった」、「最近はやりのビブリオバトルとあわせて共読の手法で読書を面白く紹介する取り組みに活用していきたいと思った」、「ユニークな研修で大変楽しかったです。参加者同士で、いろいろ話し合いコミュニケーションがとれたので、その点も良かったです。」等								
経費	<table> <tr> <td>講師謝金・交通費</td> <td>186,440 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>18,348 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>204,788 円</td> </tr> </table>	講師謝金・交通費	186,440 円	消耗品費	18,348 円				204,788 円
講師謝金・交通費	186,440 円								
消耗品費	18,348 円								
	204,788 円								